

日曹 ストロビー[®]フロアブル
(STROBY SC)

登録番号 第21988号
種類名 クレソキシムメチル水和剤
kresoxim-methyl
性状 類白色水和性粘稠懸濁液体
有効年限 4年

有効成分 クレソキシムメチル 44.2%
P R T R クレソキシムメチル(PRTR・1種) 44.2%
毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
包装 (100mℓ×10本)×6箱、500mℓ×20本

■特長

1. 新規有効成分クレソキシムメチルにより、従来の殺菌剤とは異なる新しい作用機作を備えています。
2. 各種作物のうどんこ病菌に優れた効果を示しますが、ねぎのさび病菌など他の重要な病害にも幅広い活性が認められています。
3. 予防効果が特に優れていますが、孢子形成阻害効果も示し2次感染を防ぎます。
4. 新しい作用機作を持っているため、現在問題となっている各種薬剤耐性菌に対しても効果が認められています。
5. ベーパーアクションの作用により、植物体に均一に拡散して葉表面のワックス層に吸着されるため、安定した効果を維持することができます。

■適用病害名及び使用方法

(2016年10月19日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤及びクレソキシムメチルを含む農薬の総使用回数	使用方法	
麦類 (小麦を除く)	うどんこ病 赤かび病	2,000 ~ 3,000	60 ~ 150	収穫14日前まで	3回以内	散布	
小麦	赤さび病 赤かび病						500
やまのいも		2,000 ~ 3,000	100 ~ 300	収穫7日前まで			
やまのいも (むかご)	葉渋病	2,000					
きゅうり	炭疽病	3,000	収穫前日まで				
きゅうり (花)	うどんこ病 べと病、褐斑病		収穫3日前まで	2回以内			
すいか	炭疽病	2,000 ~ 3,000	100 ~ 300	収穫前日まで			
メロン	うどんこ病 つる枯病						
	べと病						
かぼちゃ	べと病 うどんこ病	3,000	100 ~ 300	収穫7日前まで			3回以内
にがうり				うどんこ病	収穫3日前まで		
うり類 (漬物用)	つる枯病 炭疽病						
ズッキーニ	うどんこ病			4,000	100 ~ 300	収穫前日まで	2回以内
なす	すすかび病						
ピーマン	うどんこ病						
ししとう	黒枯病	4,000	100 ~ 300	収穫前日まで	2回以内		
とうがらし類 (ししとうを除く)	うどんこ病						
いちご		3,000 ~ 5,000			3回以内		

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ / 10a)	使用時期	本剤及びクレスキシムメチルを含む 農薬の総使用回数	使用方法
はくさい	黒斑病、白斑病 べと病	3,000	100 ~ 300	収穫3日前まで	3回以内	散 布
サラダ菜	褐斑病			収穫7日前まで	2回以内	
たかな たいさい	白斑病			収穫前日まで		
おおさきな すいぜんじな	黒斑病			収穫14日前まで	3回以内	
のざわな タアサイ	べと病			収穫前日まで		
なばな	白さび病			3,000 ~ 4,000	2回以内	
さやえんどう 実えんどう	さび病			3,000	3回以内	
にら にら(花茎)	白斑葉枯病	2,000	収穫7日前まで	2回以内		
ねぎ	黒斑病、さび病 黄斑病		収穫21日前まで			
わけぎ	灰色かび病	3,000	2,000 ~ 3,000	収穫14日前まで	3回以内	
たまねぎ	灰色腐敗病	2,000				
葉にんにく にんにく	さび病	2,000 ~ 3,000	3回以内	2回以内		
にんじん	黒葉枯病 斑点病	3,000	1回			
しゅんぎく セルリー	炭疽病 斑点病	2,000	2,000 ~ 3,000	2回以内		
てんさい	葉腐病 褐斑病	3,000	2,000 ~ 3,000	3回以内		
食用ぎく きく(葉)	白さび病 黒斑病、褐斑病	2,000 ~ 3,000	2,000	2回以内		
きく		2,000 ~ 3,000	2,000 ~ 3,000	3回以内		
食用ゆり	葉枯病	2,000	2,000	2回以内		
食用金魚草	さび病	3,000	3,000	2回以内		
たらのき	そうか病	2,000	2,000	2回以内		
パセリ	うどんこ病	3,000	3,000	1回		
しそ科葉菜類 (しそを除く)	灰色かび病	3,000	3,000	2回以内		
しそ	斑点病	4,000	4,000	2回以内		
アスパラガス		2,000	2,000	3回以内		
食用トレニア 食用パンジー		4,000	4,000	2回以内		
食用西洋たんぽぽ 食用かえで(葉)	うどんこ病	3,000	3,000	2回以内		
ディル(葉) チャービル				2回以内		
らっきょう	乾腐病	200	-	植付前	1回	30分間 種球浸漬

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤及びクレソキシムメチルを含む農薬の総使用回数	使用方法
茶	もち病 網もち病	2,000	200～400	摘採10日前まで	3回以内	散布
	炭疽病、輪斑病 新梢枯死症	2,000～3,000				
りんどう	褐斑病、黒斑病	2,000	100～400	発病初期		
アスター	さび病	2,000～3,000	100～300			

▲ 効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. 使用に当たっては容器をよく振ってください。
3. 散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
4. 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
5. 小麦に対して希釈倍数500倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。
6. いちごの施設栽培で施設内が高温多湿な場合は、薬害を防ぐため散布後十分な換気を行ってください。また、特に散布後高温が予想される場合は使用しないでください。
7. 浸透性を高める効果のある展着剤を混用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤混用に当たっては事前にその適否を確認してください。
8. メロンに使用する場合は、交配～幼果期までの散布では薬害を生じることがあるので、この時期の散布はさけてください。
9. きくに使用する場合は、他剤との混用で薬害が生じる場合があるので注意してください。
10. きくに使用する場合は、高温多湿条件下では薬害を生じる場合があるので使用しないでください。
11. はくさいに使用する場合は、結球後期(あたまとし)までの散布で薬害が生じる場合があるので、使用をさけてください。
12. はくさいに使用する場合は、高温多湿条件下では薬害を生じる場合があるので、使用をさけてください。
13. 食用金魚草に使用する場合は、開花後の花に薬害を生じるおそれがあるので、開花前までに散布してください。また、花に薬害が生じるため、観賞用である(非食用)金魚草には使用しないでください。
14. のぎわなに使用する場合は、幼苗期の散布は多湿条件下では薬害が生じるおそれがあるので注意してください。
15. しゅんぎくに使用する場合は、幼苗期の散布は多湿条件下では薬害が生じるおそれがあるので注意してください。
16. アスパラガスに使用する場合は、高温多湿条件下では薬害を生じる場合があるので使用をさけてください。展着剤の加用はさけてください。
17. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
18. 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

▲ 安全使用上の注意 

19. 眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
20. 使用の際は不浸透性手袋などを着用してください。

水産動植物への影響：使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川などに流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な場所に保管してください。

- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤などで消火に努めてください。
- 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。